



京都青少年ゆめネットワーク“ゆめっと京都”広報誌

ゆめっと

NETWORK DREAMS

第  
36  
号

発行/  
京都青少年ゆめネットワーク  
京都市南区上鳥羽石橋町34-1  
ウィングパル京都内

TEL/075-672-2811  
FAX/075-681-7722

2001 March

ゆめっとホームページ <http://www.bell.ne.jp/yumet> E-mail: [reivy@mbf.sphere.ne.jp](mailto:reivy@mbf.sphere.ne.jp)

## この1年を振り返って

ゆめっと京都 代表 北村 隆 幸

昨年の4月より、伊住政和前代表よりゆめっと京都の代表を引き受け、本当に重いバトンを引き継いだというのが実感でしたが、1年が過ぎ、所属されている団体の内容がようやくわかり始めているというのが現状です。ゆめっと京都という組織への期待は大きいものがある反面、それに応えることの難しさを感じています。

今年度は全体的な事業は全く行わずに青年塾とKKサポート事業が主体となった1年でしたが、昨年の11月より今年の3月まで行いました加盟団体訪問では、ゆめっと京都の加盟団体がいかにバラエティに富んでいるか、又それぞれの力を結集すれば非常に大きなことができると確信致しました。訪問にあたりましては、各団体の皆さまがお忙しい時間の中、時間を割いていただいたことと、その後の原稿作成にご協力頂きました事に対し本当にありがたく感謝しております。加盟団体の中には、日程の都合で訪問できなかった所もございましたが、来年度には是非訪問させていただきたいと思っております。

おかげ様で、団体紹介冊子についても完成する目処が立ちました。こういう冊子については、なかなかきっかけがないと作れないのですが、設立以来5年を迎えてどのような団体がどういう活動をされているのかを冊子にまとめる事により、お互いが理解することができればと存じております。来月の総会にはお配りする予定ですので、楽しみにしていただければと存じます。

今年度は各加盟団体が参加して頂ける行事をあまりご用意できなかった点を反省し、来年度は皆さまにご協力やご参加して頂けるような行事を計画していきたいと存じます。まだまだ組織として、未熟ではありますが、ゆめっと京都が皆さまにとって意義ある組織としていくためにも今まで以上のご協力をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

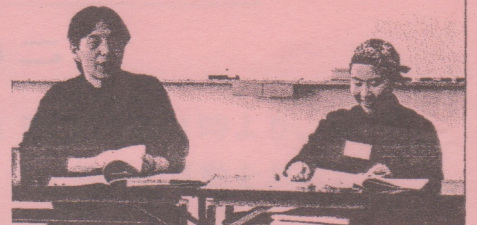
# イベントプランニング講座 開催!

3月3日(土)・4日(日) ウィングパル京都(京都市南区)にて『そこのあなたっ!!一人ではやんでいませんか?』の呼びかけに、京都市内や様々な地域(四日市・福岡・静岡)で青少年活動にかかわる若手スタッフたちが集まりました。

その『悩み』に答えるべく様々な分野で活躍されておられるPowerある講師陣を迎え、豊富な経験からのお話を聞き、ディスカッションなどを通じて交流と学びの時間を過ごしました。

## イベントプランニング講座

主催 京都KK協会・京都府青年会議所・(財)京都府青少年育成協会



↑  
スタッフのふみゆん  
(青年会議所)

3月3日(土) <第1日目>

講師のついで

← 加留部 へびす。

### ▶ 「企画とプランニング~成人式を考えてみよう~」

講師：河合満朗氏 (株)CDI取締役主任研究員

河合さんが手がけられた「うんち博覧会 in キッズプラザ大阪」(生き物がみんなしている「うんち」の実物や模型を展示し、子供達に生きることや環境に関心を持ってもらおうという企画)を通して、イベントや企画を立てる時に、その人自身の経験こそ、その企画を推し進める原動力になる、という話から始まりました。

このセッションのテーマが「キカクとプランニング」と、とっても奥が深か〜い、幅がひろ〜いものなので、新年早々に新聞やマスコミで話題になった「成人式」を例に考えてみることにしました。

3人のスタッフがあらかじめ考えておいた成人式プランをそれぞれプレゼンテーションし、コメントや参加者からの意見も交えながら「企画する」道筋について様々な角度から話を聞きました。

<感想>

「自分が経験したことしか具体的にできない」(河合氏談)から、自分のセンスを磨かなければならないと思った。」

「客体を取り込んで企画していく方法が実践できたらいいですね。」

へびすは福岡から来ました。



### ▶ 「プログラムの進行管理

~イイ企画を作り上げるためのマネージメントとは?~

講師：加留部貴行氏 インターユースふくおか(IYF)副会長

今回、はるばる福岡からお招きした加留部氏には、インターユースふくおかとともに歩んできた10数年を踏まえて、きわめて実践的な話から、福岡でのイベントの様子をビデオで紹介してもらって「その成功のヒケツから笑えぬ失敗談」までじっくり聞かせてもらいました。特に、IYFのプロモーションビデオは実に参考になりました。どんな団体で、何をして、どんなミリョクがあるのか、一発でわかりますもんね。ゆめっとでも作ったら?と素直に思いました!

ちなみに加留部氏が用意してくれたレジュメは17ページもの量! 原稿は残っていますので、希望される方にはおかけしますよ。(ゆめっと事務局に置いときます。)

<感想>

「IYFの実体験に基づく話だったので、失敗談も含めて説得力があった。」

「IYFの活動にはきっちりとしたマネージメントがあり、見習わないといけないと思った。」

「実際のプログラムを例にお話いただき、自分達に取り入れたい部分があった。」

### 一日目を通しての感想

\*「実体験(コンサル業務、イベント実施)からなる話のため説得力があったのが自分にとってうれしかったし、共感したし…参考・教訓になりました。」

\*「行き着くところは人である。まさにその通りだと思った。」

\*「よくわからないことだらけだったけど、今後の役に立つと良いです。今後活用していきたいです。」

\*「今自分達でかけている部分を知って、もっと工夫できるようがんばりたい。IYFのように他県との交流もおもしろそうだった。」

「マスメディアの現場から～取捨選択される情報～」

講師：中村真秋氏 エフエム京都番組編成部長

広報チラシでは、あやしげな姿しか見せていませんでしたが、ムリを言って来ていただいたアルファステーションの中村さん。FMにおける広報の実情などお話をいただきました。



中村氏 → (左はじ)

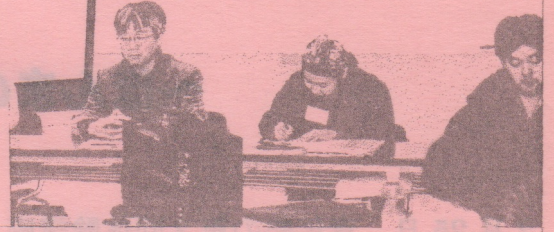
<感想>

- 「実際の現場の生の声が聞けた。」
- 「マスコミに広報をお願いするときは、今日聞いたことを思い出そう。」
- 「ラジオを真剣にきたことがなかったので、深い話が聞けてよかった。」
- 「マスコミへのアプローチの方法が考えられた。」

京都府の 松田氏(右)と福永氏(左)

ベトナム・ニグ講座

主催 下道山崎 京都府青年会議会 同和青年会議会



↑ スズメの田中さん(右)も参加していただきました。

「お金集まるか?!～京都サロン・その苦難のレキシ～」

講師：松田洋平氏 京都サロン代表

今回の講師陣でただ一人学生(この情報紙が出るころには、もう就職で東京へ行ってらっしゃいね。)の松田氏。しかし、京都サロンの発足当時のお金集めの苦労や、取組みでの借金の話など、話の中身は実にフカク、涙ナシでは聞けない(?) 実にピュアな活動をされていることがヒシヒシと伝わってきました。

<感想>

- 「学生でもしっかりした考えを持って活動しているということに感動した。」
- 「学生という同じ立場でありながら、活動しているエネルギーに圧倒され共感しました。」
- 「京都の土地柄で利を得ている成功例(失敗もあるが)であり、セッションよりも情報交換でほしいプログラムである。」
- 「大学生の求めるものってそうなのか。それに対するメニューが出来ていただろうか。」



「イケてるチラシ イケてないチラシ ～裏側にないチラシとは～」

講師：中野新一氏 スタジオキャスト代表取締役

と題し、デザイナーとして活躍されている中野氏は、なんとその日の朝刊に入っていた広告チラシの比較と「なんでこの配色か」「このレイアウトの意味とは」といった実に専門的な話から始まりました。(奥さん怒ってはらんやろか。)そして「自分にダメ出しをしない」「他人と比較しない」「完全を求めない」といった中野氏自身の仕事の上でのモットーを具体的に話していただきました。また「無人島から脱出するための方法を考える」というロールプレイを使ってイメージの大切さについて学びました。で、なんといってもみんながぶったまげたのはその巧みな話術! ケツサクでした。

<感想>

- 「プロの姿勢からのデザインの話は広報の大切さがしみじみと感じた。人のベースはその人の感性である。」
- 「のりのりでした。」←なんじゃそりゃ。
- 「チラシを作る前にイメージが大切であること、肝に銘じます。」
- 「おもしろい、心に響くお話を聞けて大満足だった。」

↑ 四日市から来た。みんな真剣でした。



スズメの高橋くん(新青森青年会議会)

中野氏。↑ 中野の濃い話と挖腹絶倒の語りにもみんな面くらった。

全体を通じて

今回、お招きした講師の方々は、講演の題目は違っていても、その話の端々に「企画はやはり『人』がポイント」である、ということ言葉を換え、それぞれの方の体験を通して話していただいたように思います。そーなんですよー。いつも問われているのは、結局自分の姿勢なんですよ。そのことに改めて気づきました。夜の交流もとっても楽しかったです。みんな、はじめてあったメンバーとは思えないくらい打ち解けてました。

参加できなかった方々にはホント、申し訳ないくらい「イイ」2日間でした。



↑ 桐山くん(新青森青年会議会)

# 生きるって、何や。

～ほんまの自分、見つけへん？～

2月25日、青年塾の第3回体験講座「生きるって、何や。～ほんまの自分みつけへん？～」

が行われました。今回は京都 鹿ヶ谷 **法然院貫主 梶田真章氏**をお招きし「生きる」をテーマにお話いただき、ディスカッションを行いました。

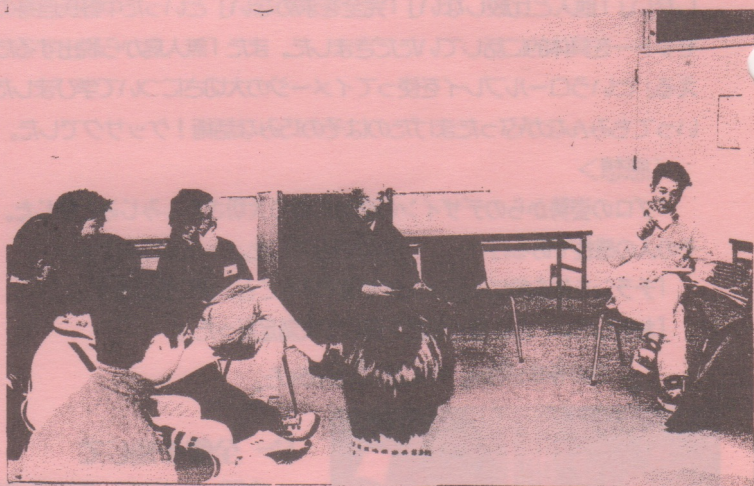
「人もモノも他とは無関係ではなく、互いの存在や行いは影響しあい、そのつながりのうえに自分はいる」といった仏教のお話から始まり、その中での「**自分とは**」まで話が広がりました。

ディスカッションでは今の自分をふりかえりながら「**本当の自分**」について、お互いに意見を交換しました。参加者からは「周囲からの期待に答えようとする自分とそれから外れたい自分がいる」とか、「**本当の自分があるならウノの自分はあるのかなぁ？**」などあり、梶田さんからは「自分にしんどい時があるように他の人にもしんどいときがある。相手を思いやっていきたい」とありました。

その後、梶田さんも交えて鍋を囲み、さらに意見を交換し、参加者同士の交流も深まりました。

しっかりした答えはできなかったけど  
これからも生きていく上で考えていく  
べきだし（きっと死ぬまで答えられる  
ものではないと思いますが）いろんな  
意見が聞けてよかったです。

（参加者感想より）



生きることの意味として他（物、人、動物）を活かし自己を活かすことを毎日の中に発見することの大切さを教えてもらいました。

（参加者感想より）



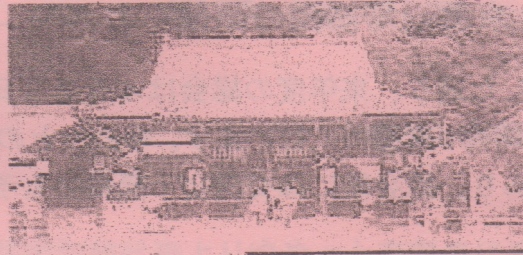
# 京の歳時記

## 十三まいりのお寺

虚空蔵

嵯峨  
嵐山

法輪寺



虚空蔵法輪寺は京都西山・名勝嵐山の中腹にあり、『十三まいり』のお寺として知られています。本尊虚空蔵菩薩（こくうぞうぼさつ）は嵯峨の虚空蔵さんとして古くから親しまれており、今昔物語・枕草子・平家物語などに記述され、智恵・福德・技芸上達そして丑寅年生の護本尊の仏様として知られています。また、『針供養』『漆祖神』のお寺として全国から信仰を集めております。また、境内には電気・電波を守護する鎮守社『電電宮』が祭祀されています。

春の新緑の季節には、虚空蔵様の恵を得ようと参詣する十三参りの男女で境内は賑わいます。

### 「十三まいり」のご案内

古来より、数え年十三歳に成長した男女が、成人の儀礼として法輪寺に参拝しました。十三歳の厄難を払い、智恵を授けていただけるように虚空蔵菩薩に祈願します。難波より 十三まわり 十三里 もらひにのほる 智恵もさまざまの歌で知られるように、江戸時代の中頃から京都のみならず近畿一円からのお参りが一般に広がりました。

古くは本尊虚空蔵菩薩の最も縁の深い旧3月13日（現在の4月13日）に参詣するのが一般的でしたが、現在では下記の期間を十三まいりの期間としてご案内しておりますとのことです。

十三まいり参詣期間  
春 3月13日～5月13日（4月13日を中日とした一月間）  
秋 10月～11月

# ゆめっと告知板

## ゆめっと京都からのお知らせ

### 平成13年度ゆめっと京都通常総会の開催

先にお伝えしておりました通り、来年度の総会は4月21日(土)午後4時より、ゆめっとがありますウイングパル京都にて行います。ゆめっとの1年間の活動をお伝える非常に大切な総会であり、総会後には交流会・懇親会も予定しております。

## 広報委員会からのお知らせ

### ☆広報委員会 スタッフ 大募集

来たる平成13年度は、ホーム・ページ、メーリング・サービスなどインターネットを使った広報活動に力を入れ、加盟会員の皆様の活動及び交流に役立つ情報を提供していきたいと思っております。ホーム・ページの作成が出来るなどパソコンに詳しい方、あるいは、今はあまり出来ないが興味はあるので一緒に学びながらやっていきたい方など、協力していただける方はどしどしゆめっと京都事務局までご応募ください。

### ☆メール・サービス (郵送のサービス)

広報委員会では、ゆめっと京都加盟団体が主催する行事に関わるチラシ、パンフレットなどを毎月の定期発送日(毎月最終金曜日、ただし2月は最終木曜日)に、ゆめっとの会員、青年塾塾生、青年塾参加者にお送りサービスを行なっております。(ただし、発送日がない月もあります。)くわしくは、ゆめっと京都事務局までお問い合わせください。

### ☆団体訪問、および団体紹介冊子

昨年11月から行なわせていただいております加盟団体訪問には、お忙しいなか多数の団体様の御協力をいただき、本当に有難うございました。お蔭様で団体紹介冊子も着々と作成進行中で、4月21日(土)、総会の日には皆様にお渡しできる予定です。